

伊達な旅ガイド

Vol.154

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

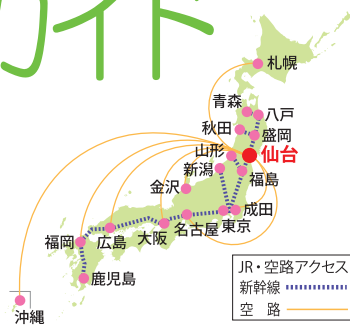
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



宮城県
観光PRキャラクター
むすび丸



4月13日
放送

復活! 唐桑御殿

気仙沼市唐桑地区には、「唐桑御殿」とよばれる漁師の豪邸が数多く建っています。その中で、2011年の津波により大きな被害を受けたものの、再生し一般に開放した唐桑御殿が「民宿 唐桑御殿 つなかん」。震災後、学生たちの声をきっかけに民宿を始めました。ここに泊まって唐桑漁師の豪快さに触れてみませんか。



「唐桑御殿」が作られた理由を聞いてみました

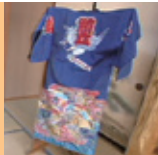
しげたち うたいこみ
鮎立大漁唄込保存会 鈴木 忠勝さん
「漁師が、長い期間たくさん働いてきた証として、家を立派にして大きく建てたことが『唐桑御殿』の始まりです。それには、(留守中に家を守ってくれる) 家族を慰労するという意味も込められていたと思います」



ZOOM UP

かんぼん
大漁万祝

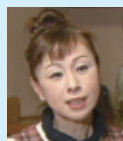
鶴や亀など縁起のいい図柄があしらわれた着物。大漁のお祝いをするときに、これを着て『唄込』を唄います。



民宿 唐桑御殿 つなかん Tel.0226-32-2264

菅野 一代さん

「震災後、(ボランティアとして) 全国から集まった学生たちに『屋根があるだけでもいいんです。ここを寝泊まりする拠点に貸してください』と言われたことが、被災した建物を直そうと思ったきっかけでした。学生たちがここに寝泊まりして、笑い声や話す声が聞こえると、灯りがもったような、生き返ったような気持ちになりました。そして、もしかしたら、またここで頑張れるんじゃないかという勇気をもらいました。」



震災後、本当にいろいろな人たちに助けられました。お金では買えない『思いやり』『あったかい心』をいっぱいいただきました。震災前は、「お金を稼ぐ」、「会社を大きくする」、それだけの思いで働いてきましたが、震災をきっかけに、それ以上のものがあるんだということが分かりました。残りの人生は我慢しないで、「思いやり」とか「あったかい心」とか、そういう生き方をしていきたいと考えています」



襖を取ると
座敷が広く
使える



カキやホタテを使った
自慢の料理